

令和元年 学生向け福祉体感ツアーご案内

福祉体感ツアーで 本気のプロに、出会おう

ゲンバで働く先輩たちは、どんな想いで障がいのある方に接しているんだろう？ そんなクエスチョンの答えを直接聞ける、プロに出会える、12回限定のゲンバ見学ツアーが開催されます！

お申し込みは先着順！！
(参加数の制限があります)
事業新任者の研修にも！！
(お気軽にご参加ください)

期 間： 2019年 5月～12月

(地域参加型ボランティア活動を含む)

場 所： 大阪市内の福祉サービス事業所

料 金： 無 料 (全12回)

OSAKA福祉オープンキャンパス
公式サイト
<https://osaka-fukushi.jp/>



Let 's go to FUKUSHI !! いつもは見学できない福祉のゲンバをリアルに体感できるチャンス！

1回だけの参加も大歓迎！

↓ 本年度のプログラムの概要 (毎回開催前には、再度、詳細チラシを発行いたします) ↓

(プログラムは変更の可能性があります)

※詳細は別紙で！！

期 日	開催(訪問)先	主催者区分	開始時間	概 要
5月24日 5月27日	ワークセンター中授 (24日=全体説明)	移行・B型	午後2時～ (PM1)	就労支援施設の見学/利用者によるリアル解説
5月26日	淀川区役所	区フェスタ・ボランティア	午前10時	淀川区はたらく・くらし応援フェスタ(スタッフ参加)
①6月20日 ②9月 ③10月	ダイキンサンライズ*摂津	障がい者雇用会社 (特例子会社)	午前9時～	障がい者雇用の実際(1日体験/見学・解説)
8月3日	ふれあい共生会	地域活動ボランティア	午後3時～	ふれあい夏祭りへの(高齢・障がい)スタッフ参加
8月21日	サテライトオフィス平野	移行・生活訓練	午後2時～	トレーニングメニューの紹介/利用者テーブルセッション
8月24日 (23～24日)	立命館大学 (47回職リハ学会)	大会実行委(外部) (受付・ファシリ・参加)	午前9時～	コミュニティーベースによる地域企画(演習参加) (AM10:00～12:00 大会主催WS)
10月4日	WANA 関西マルビア	自立訓練(生活)	午後7時～	SEP(自尊感情回復)/エンパワメント支援
①11月21日 ②12月5日	大阪 MAC	地域活動支援センター	午後12時	アルコール・薬物・ギャンブル・その他の全ての 依存症の方への支援について

お問い合わせ： 大阪市障がい者就業・生活支援センター(担当:前野) Tel:06-6776-7336

R元年ツアー開催場所一覧		お申込み(記名欄) 【人数過多の場合は先着順としますので、 左上より順番にご記名ください】
開催(訪問)場所	住所(最寄駅など)	
ワークセンター中授 ※午後1時メド 全体会議(計画解説) (全2回開催予定)	大阪市天王寺区東上町4-17 JR・千日前線・近鉄 鶴橋駅徒歩5分	※1時からご出席の方はご氏名の頭に○をお付け下さい。(本開催回のみ) ※24日/27日の区別をしてご記入ください。
淀川地域 はたらく・くらしフェスタ (淀川区役所) ※地域企画ボランティア	大阪市淀川区十三東2-3-3 阪急十三駅東口より徒歩約400m	
ダイキンサンライズ摂津 (全3回開催予定)	大阪府摂津市東別府4丁目9-9 大阪モノレール南摂津駅徒歩20分	※6月/9月/10月の区別をはっきりご記入ください。例: 参加希望氏名「○○○○」・・・6月
サテライトオフィス平野	大阪市平野区喜連西4-7-16石光ビル202 谷町線喜連瓜破駅徒歩10分	
立命館大学 (第47回職リハ学会)	大阪府茨木市岩倉町2-150 JR茨木駅徒歩5分 阪急南茨木駅徒歩10分	※23日のみ、24日のみ、両日とも、の区別をはっきりさせてください。(ワークショップは23日午後です)
WANA関西 マルヒア	大阪府中央区大手通3-3-6本町橋ビル2F 堺筋本町2番出口徒歩10分 (マイドーム大阪から西100m)	
大阪MAC (全2回開催予定)	大阪府大阪市浪速区日本橋東1-3-5 大阪メトロ(地下鉄)難波駅徒歩10分 同 日本橋駅徒歩10分	※11月/12月の区別をはっきりご記入ください。 例: 参加希望氏名「○○○○」・・・12月

【 お申込み FAX 番号 】

06-6776-7338

(注) お申し込みの際には、上記の FAX 番号をお間違えの無いようお願いいたします。

私は、第 _____ 回ツアー (会場名: _____)
(_____ 月 _____ 日分) に、申し込みます。

ご所属: _____

お名前: (同時に複数名記載=可) _____

ご連絡先: Tel: _____

e-mail: _____

ご質問など: (例: 会場への行き方レクチャーなど希望) _____

※申し込みの締め切りは各日程の10日前までに

お願いいたします。(お問い合わせ:06-6776-7336 前野 まで)

令和元年度 学生向け福祉体感ツアー 開催日程一覧

開催回	開催(訪問)場所	主催事業種別	期日 (予定)	時間	活動解説	当事者交流 (スタッフ交流)	会の概要
	大阪市就ポツ(東部)		5月24日 (金)	午後1時	(本年度ツアーの傾向説明)		学校関係者 ツアー企画委員
1	ワークセンター中授(1)	多機能 (移行・B)	5月24日 (金)	午後2時～ 午後4時	○	◎	就労移行支援・継続B型 支援施設のリアル(利用者のお話など)
2	淀川区就労支援 フェスタ (イベント・ボランティア)	淀川区役所 (協議会企画)	5月26日 (日)	終日(AM9～) (淀川区役所)	◎	○	淀川区はたらく・くらし応援 フェスタ(スタッフ参加) ＜区民企画の詳細＞
(1臨)	ワークセンター中授(2)	多機能 (移行・B)	5月27日 (月)	午後2時～ 午後4時	○	◎	就労移行支援・継続B型 支援施設のリアル(利用者のお話など)
3	ダイキンサンライズ 摂津(1)	重度多数雇用企業	6月20日 (木)	午前9時～ 午後4時半	◎	◎	障がい者雇用の実際 (社内でのジョブ体験)
4	社福)ふれあい共生会 (地域イベント・ボランティア)	花嵐・もくれん等 (実行委企画)	8月初旬	終日		◎	(5月末担当者との調整予定) 7月に開催前オリエンテーション予定
5	サテライトオフィス 平野	多機能 (移行・生活訓練)	8月21日 (水)	午後2時～ (職リハ)	◎	◎	・オリジナルトレーニングメニューなどの紹介(プレゼン) ・利用者とテーブルセッション
6	職リハ学会大阪大会 (イベント・ボランティア)	全国学会 (立命館大学) (JSN)	8/23・24 (金・土)	終日 (立命館大)	◎		第47回学会大阪大会 (スタッフ参加 <u>ワークショップは23日PM</u>) ＜全国のJC等、発表聴講の機会＞
7	ダイキンサンライズ 摂津(2)	重度多数雇用企業	9月20日 (金)	午前9時～ 午後4時半	◎	◎	障がい者雇用の実際 (社内でのジョブ体験)
8	WANA関西 マルヒア	生活訓練 SEP(自尊感情回復プログラム)	10月4日 (金)	午後7～9時	◎	○	認知行動療法「SEP」などの解説 事業スタッフとの交流セッション
9	ダイキンサンライズ 摂津(3)	重度多数雇用企業	10月18日 (金)	午前9時～ 午後4時半	◎	◎	障がい者雇用の実際 (社内でのジョブ体験)
10	大阪MAC(1)	地域活動支援 (社会復帰)	11月21日 (木)	午後12時半～ 午後4時	◎	◎	アルコール・薬物・ギャンブル・その他の全ての依存症の 方への支援について
11	大阪MAC(2)	地域活動支援 (社会復帰)	12月5日 (木)	午後12時半～ 午後4時	◎	◎	アルコール・薬物・ギャンブル・その他の全ての依存症の 方への支援について
	ハローワーク等 (地域企画総括)		1月下旬 予定	午後	(地域企画の年度報告会)		学校関係者 ツアー企画委員及びツアー参加者

◎印 ←は、当日セッションの傾向(空欄は該当せず)

令和元年度 学生向け福祉体感ツアー 開催概念と基本的な構成軸

① 現職支援者からの「**講義（先輩はなぜ福祉職を選び、その職に就いているか）**」を聞く。

- ◎ 地域の支援現場に集まり、そこで現場の雰囲気を感じつつ、先輩談として「福祉職とは何か」と題したお話を聞く。
 - ・なぜ、自分（先輩）は今の福祉職に就いているか（自分<学生>はそれを聞いて自分はどうか）。
 - ・福祉職に就いて、成功だったこと、失敗したこと。または経験できた「出会い」など。
 - ・「その現場事業所」が社会福祉として担っているミッションなど（解説する＝理解していく）



② 参加をする「自分自身」がテーマを決めて、現職を交えて「**グループワーク**」してみる。

- ◎ 参加者同士（同一興味集団＝SIG）で、福祉職（あるいは福祉利用）に向かう自分を見つめ直す。
 - ・在学中から地域活動できることについて（福祉ボランティア、インターンシップなど）
 - ・今の自分に「試してみたいこと」があるか。将来なりたいのはどんな「自分像」なのか。
 - ・地域の福祉事業者（先輩）からの意見も参考にしつつ、他者の意見を自分に取り込む作業をする。



③ 「地域の福祉支援者」と「学生の諸氏」が、同じ場に集い、「**互いに未来の自分**」を考える。

- ◎ 在学生における「就活事始め」でもあり、現職者は「貴重な人材」が集う場所でもある。
 - ・本企画を通じて、「顔の知れたお互い」になる。
 - ・お互いに大人としてのマナーを守り、一つは「卒後の進路」、もう一つは「将来の人材」の獲得を念頭に、遠慮せず「自分の意見」を述べあう。

